

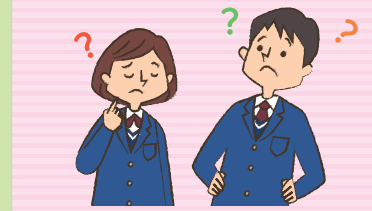
広島版「学びの変革」これまでの取り組みと平成28年度の発展

Case 2 **【課題発見・解決学習】**…御調高等学校2年生の取り組みを見てみよう
教科での学びと総合的な学習の時間での学びを連動させて、地域活性化について考えてみよう!

御調高等学校では、物事をグローバルな視野から自分自身の問題としてとらえ、主体的に生きようと
 する生徒を育成するため、知識を活用して物事を深く考える力や他者と協力しながら物事に取り組む力
 などを身につけさせることを目指しています。
 総合的な学習の時間に、御調地域の5つの宝「福祉・医療」「ソフトボール」「文化・伝統」「自然」「食物」に
 焦点を当て、地域活性化のために何が出来るかを分科別グループに分かれて考えました。

1 課題の発見

御調地域の活性化のために
何が出来るだろう。



「文化・伝統」グループは、地域の文化や伝統について調べたことを全て黒板に列挙し、「広めること」と「伝えること」の2つの課題に気付きました。そして「廃れている」といったマイナスのイメージがあるが、プラスに転換することができれば、御調地域の文化・伝統を広めていけるのではないかと考えました。

マイナスイメージを持っているのは自分たちだけ? あまり知られていないよね



【教科との連動】日本史

御調地域の文化・伝統についても、当時の時代背景と関連付けて深く知ることができたよ。



戦国大名の成長を釜山開港の視点から学習し、石見銀山の銀を運ぶ銀山街道が、御調を経由して尾道まで続いている理由を考え、御調地域発展の歴史と銀山街道の開通の関連に気づきました。

2 調べてまとめる

地域の文化・伝統はどの程度知られているのだろうか。



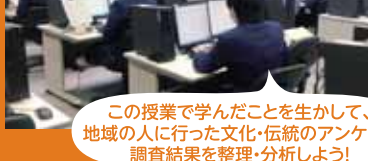
御調地域の文化や伝統がどの程度知られているのか、実態を調べるためにアンケート調査を実施し、その結果を整理・分析しました。
 また地域の伝統である青柿の収穫から柿渋を絞り出すまでの作業を体験し、その情報をまとめた。



明治時代、日本三大渋柿の産地の一つだったんだって

【教科との連動】情報

この授業で学んだことを生かして、地域の人に行った文化・伝統のアンケート調査結果を整理・分析しよう!



データの分析ができるようになることを目標とする授業で、表計算ソフトを用いたデータ入力の方法やその工夫の仕方を作業しながら学び、実際のデータについて分析を行いました。

3 解決策を生み出す

柿を使ったものを有名にして柿を地域に根づかせよう。



防虫・防菌・防水などの効果が高い染料や塗料として活用されてきた柿渋は、主に青柿をすりつぶして絞った絞り汁を発酵・熟成させたもので、日本古来の天然素材です。柿渋を使った商品開発を行い地域に根づかせることができれば、地域の活性化につながるのではないかと考えました。

柿渋でいろいろ実験しよう!



【教科との連動】化学

柿渋のデメリットを乗り越える商品をもっと考えよう!



合成染料の原料となるアニリンを使った染料で布を染める実験を行い、観察した結果を整理して記録しました。化学ではさまざまな観察・実験を行うことで、観察・実験の技能を身につけています。

4 解決策を表現する

地域で実践! 柿渋染めコースター作りのワークショップ。



地域の道の駅「クロスロードみつぎ」で「御調町の宝 柿」のPRチラシを配り、柿渋染めコースター作りのワークショップを開きました。湯崎県知事が道の駅を訪れた際にも、柿渋染めガーゼハンカチ作りを体験してもらったり、柿渋で染めた箸をプレゼントしたりしました。道の駅で販売していた染色用の渋柿の販売数も向上しました。

聞かれてわからなかったことは調べてみよう



【教科との連動】家庭科—フードデザイン

干し柿の風味を隠さず生かす工夫をしよう!



スローフード運動に興味を持ち、地域の伝統的な食品の加工法を開発することを目標とする家庭科の授業で、御調の干し柿を使用した料理を考案して作り、地域の人に試食してもらいました。

5 振り返り 解決策の実行

地域実践や外国語の授業での評価を生かして、商品開発をスタート



地域実践等での「御調の柿の歴史を初めて知った」、「文化・伝統とは何かを考え、商品開発につなげていけた」など肯定的な意見のほか、外国語の授業では「柿渋の利点がそもそも知られていない」などの意見もありました。これらを振り返り、外国語の授業で出てきたデメリットを乗り越えられるかという視点が生まれました。その視点も生かして贈り物向けの商品を開発するという解決策の実行を始めました。

もっと商品開発を考えたらどうだろう…



【教科との連動】外国語

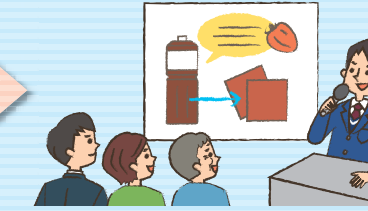
英語の「賛成・反対」の表現を用いて、意見を話せるようになることを目標とする授業で学んだことを生かして、御調地域活性化プランについて「尾道/バイヤよりも柿を有名にすべきだ」というトピックを取り上げ、意見を述べました。



実践した解決策について英語で意見を話すことは、中身があるので、とても楽しい!

6 新たな課題への挑戦

「みつぎのみつぎもの」プロジェクトを地域に提案



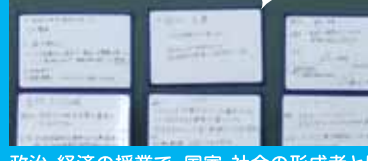
約400年の歴史のある御調の柿で作った柿渋で、「みつぎのみつぎもの」という商品を開発し、定着させるという御調地域活性化プランを、尾道市副市長に提言しました。さらに地域の文化ホールに地元の中学生や地域住民、尾道市議会議員を招き、御調地域活性化プランの提案をしました。

御調の商品として定着させたい!



【教科との連動】公民—政治・経済

古くからあるのに、あまり知られていない文化を再度盛り起こそう!



政治・経済の授業で、国家・社会の形成者として求められる力を育むため、総合的な学習の時間に学んだことを活用し、地域の課題についてグループに分かれて議論し、他者の意見を参考にしながら一つの意見を作る体験をしました。

いよいよ ひろしま総文 & インターハイ

今年の夏は、高校生による国内最大の芸術文化活動の祭典「全国高等学校総合文化祭」が広島県で、そして高校生最大のスポーツの祭典「全国高等学校総合体育大会」が広島県を含む中国地方各地で開催されます。

今年初開催
第40回全国高等学校総合文化祭
 にいまいるいちろく
「2016ひろしま総文」
 生徒による総文レポート vol.4
 吟詠剣詩舞部門

息の合った演技を披露

吟詠剣詩舞には3つの要素があり、和歌や漢詩などに節をつけて吟じる吟詠、吟詠にあわせて扇をもって舞う詩舞、剣をもって舞う剣舞、これらをまとめて吟詠剣詩舞といえます。
 12名で構成された広島県合同チームは、昨年10月に開催された「2016ひろしま総文吟詠剣詩舞部門プレ大会」で「飛翔〜頼山陽と広島の人〜」と題して、広島にゆかりの深い文人の漢詩を披露しました。その演技からは、同じ高校生とは思えないほどの力強さや気品が感じられました。
 また、生徒実行委員長は本大会に向け、「皆さんが楽しんで、日本文化を感じられる大会にしたいです」と熱く語ってくれました。

公式ホームページで最新情報をチェック!
 「2016ひろしま総文」で検索してね!

大会マスコットキャラクター もみおん

平成28年度 中国5県でインターハイ開催!

vol.4 出場目指して奮闘中!

広島観音高等学校 バスケットボール部

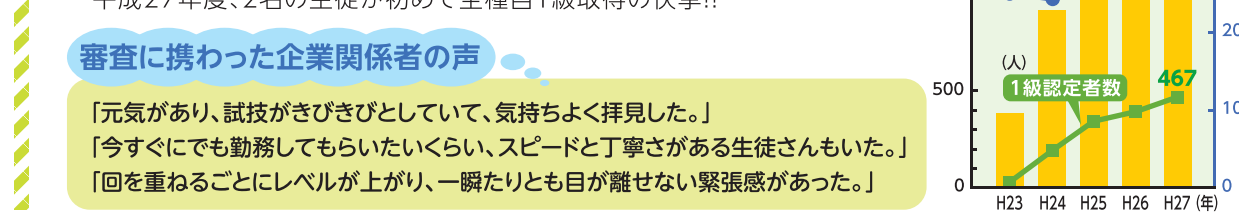
男女ともに実力校として知られる広島観音高等学校バスケットボール部。男子キャプテンは「小柄なチームなので、しっかり走りスピードを生かして中に切り込んでいきたい。チャンスは見逃さず、相手のリズムを崩すゲームが理想です」と話します。女子は近年、全国大会に出場した経験を生かして、インターハイ1位出場を勝ち取ることを目指しています。「大きい選手がいなくて、ディフェンスから流れをつくり、オフェンスへとつなげていくのが持ち味。個々の得点力を高めることが課題です」と女子キャプテン。体育館の使用時間に制約のある練習環境でありながらも、男女それぞれに高い目標を掲げ、日々厳しい練習に励んでいます。

2016ひろしま総文プレ大会を視察された志々田 県教育委員
 昨年11月のプレ大会総合開会式を拝見しました。出演者の皆さんの演技はどれも素晴らしい、とても感動しました。今年の夏は、ひろしま総文とインターハイが開催されます。ぜひ、会場で応援しましょう。

自立に向かって挑戦中!

特別支援学校技能検定で自信をつけ、就職を目指します

特別支援学校高等部に通う生徒の就労を支援するため、企業団体等と連携し、広島県独自の資格を認定する「特別支援学校技能検定」を年に2回実施しています。清掃、接客、流通・物流、食品加工、ワープロの全5分野11種目があり、企業関係者等の審査により、1〜10級までの10段階で認定します。
 平成27年度、2名の生徒が初めて全種目1級取得の快挙!!



審査に携わった企業関係者の声

「元気があり、試技がきびきびとしていて、気持ちよく拝見した。」
 「今すぐにもでも勤務してもらいたいくらい、スピードと丁寧さがある生徒さんもいた。」
 「回を重ねるごとにレベルが上がり、一瞬たりとも目が離せない緊張感があった。」

広島県科学賞

日常生活で感じた疑問を、科学研究で解明してみよう!

平成27年度は県内の児童・生徒から62,000点を超える作品が出品され、特に優秀な14作品の研究者が表彰されました。科学研究は、身近な現象から課題を見つけ、実験方法を工夫し、実験結果から自分なりの結論を見いだすものです。皆さん、夏休みの課題等で、ぜひチャレンジしてみてください!

広島県立教育センター 科学賞

その他にも、新たな取り組みが始まります!

「学びの変革」推進寄附金

学校や児童・生徒の新たな挑戦を応援する仕組みとして、広く寄附を募集します。

寄附金の用途は以下の2つです。

○「学びの変革」を推進する県事業の支援
 海外留学助成金の拡充、海外留学生への奨学金、「学びの変革」を先導的に実践する学校の設置など。

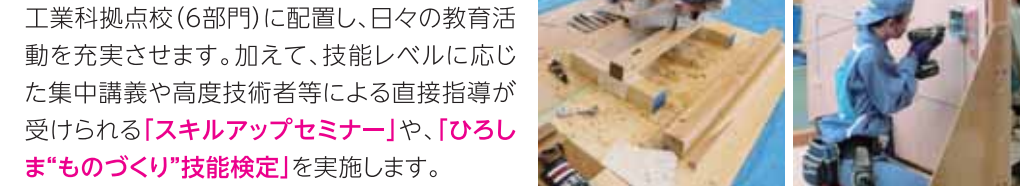
○寄附者が選択した県内の学校の「学びの変革支援」
 教材や海外姉妹校との交流、グローバルキャンプの開催など、国公私立の中から学校を指定できるのは全国初。

学びの変革 寄附

ものづくり人材育成日本一プロジェクト

新たな時代に求められる「高い技能を有し、ものづくりに対する『情熱』や『積極性(探究心)』などを有した技能系人材」を育成します。

ものづくり企業を退職した熟練技能者をSET (Super Engineering Teacher)として県内工業科拠点校(6部門)に配置し、日々の教育活動を充実させます。加えて、技能レベルに応じた集中講義や高度技術者等による直接指導が受けられる「スキルアップセミナー」や、「ひろしま“ものづくり”技能検定」を実施します。

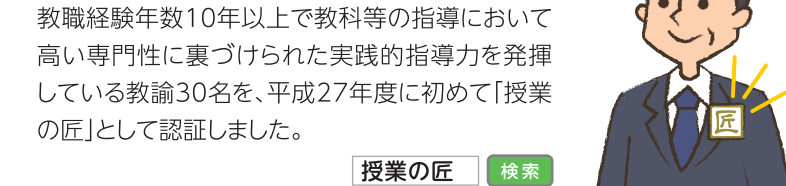


業の匠

「授業の匠」認証制度

教科等の指導力が特に優れた教諭を「授業の匠」として認証し、他の教諭の授業力向上に役立てます。

県立学校、公立小・中学校(広島市を除く。)および広島県尾道南高等学校に勤務する教諭のうち、教職経験年数10年以上で教科等の指導において高い専門性に裏づけられた実践的指導力を発揮している教諭30名を、平成27年度に初めて「授業の匠」として認証しました。



業の匠

